

## 病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）に生じる心筋虚血と好中球細胞外トラップ（NETs）の評価
当院の研究責任者 (所属)	中西浩一（琉球大学大学院医学研究科育成医学（小児科）講座）
他の研究機関および 各機関の研究代表者	奈良県立医科大学（研究代表者：松本雅則）
本研究の目的	血栓性血小板減少性紫斑病は全身に血栓をもたらす疾患ですが、奈良県立医科大学輸血部の過去の研究の結果、心筋虚血が致命的帰結の主因である可能性が示されました。また近年好中球細胞外トラップという機序が発見されました。これは好中球が細菌などを貪食によって殺菌するのではなく、核酸を投網のように投射してとらえる全く新しい免疫学的機序です。しかし、この機序の免疫反応は慢性化することで血栓形成の素地になることが判明しています。今回、奈良県立医科大学輸血部研究室に提出された検体を用いて心筋虚血と好中球細胞外トラップの関連性を研究します。また初診時の臨床所見について担当医にアンケートを送付し症状との関連を評価します。
研究実施期間	実施許可日 ～ 2028年3月31日
調査データ(該当期間)	2005年4月1日 ～ 2023年9月30日の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 対象期間中に担当医から奈良県立医科大学輸血部に検査依頼があり、TTPと診断された方。</p> <p>●利用する試料・情報</p> <p>①患者イニシャル、生年月日、性別、発症日、既往歴。 ②抗血栓療法の有無、胸部所見の有無、心電図所見、心臓超音波所見、トロポニン測定値。 ③心筋ストレスマーカー、転帰。</p> <p>また、提出された血液検体を用いて、以下の項目を測定します。</p> <p>①トロポニンT、トロポニンI、シトルリン化ヒストンH3、DNA/histone complex。</p>

<p>試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>データの提供はMicrosoft Formsで行う。より詳細な情報が必要な際には紙面でのアンケートを追加で実施する。</p>
<p>試料・情報の二次利用</p>	<p>本研究で取り扱う試料および情報について二次利用は行いませんが、疾患の希少性から再度データをとることが困難となることが予想され、また対外発表の際に元データの開示など要求される可能性があることを鑑みて、保管期間は少なくとも研究終了期間までとし必要に応じて延長します。なお破棄する際にはシュレッダーで破棄します。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>臨床所見やイニシャルなどの個人情報を研究用IDに置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。研究IDとの対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。</p> <p>琉球大学では、対象者の情報を扱う際は個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化し、対応表を作成します。各施設間では匿名化後の情報のみの提供を行い、対応表は当科責任者が保管し機関の間で授受は行いません。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究は、研究責任者が所属する講座の研究費を利用して実施します。研究の遂行にあたって、研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような起り得る利益相反は存在しません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>&lt;研究代表機関&gt; 電話：0744-22-3051 担当者：奈良県立医科大学輸血部 酒井和哉</p> <p>&lt;琉球大学&gt; 連絡先：098-895-1154 担当者：琉球大学大学院医学研究科 育成医学（小児科）講座 中西浩一</p>
<p>備考</p>	